

# 幸手市立さかえ小学校 学力保障グランドデザイン

## 学校教育目標

- 思いやりのある子
- かしこい子
- たくましい子

## 学校研修課題

ICTを活用して、主体的に学習に取り組み  
新しい時代を切り拓く児童の育成  
～教育リーディングDX事業の推進を  
学校運営の中核に据えて～

## 本年度の重点

- 1 基礎基本の定着（その学年で学んだことはその学年で定着）
- 2 主体的・対話的で深い学びの授業の創造
- 3 非認知能力の向上（生活科・総合的な学習の時間を中心に）

## 目標達成の指針

- 1 全国学力学習状況調査 平均正答率
- 2 埼玉県学力・学習状況調査 学力が伸びた児童の割合
- 3 幸手市統一学力調査 平均到達スコアが昨年度より伸びた児童の割合
- 4 自主学習 ノート1冊以上終えた児童の割合
- 5 児童アンケート 自分にはよいところがあるの項目での肯定的な回答の割合
- 6 タブレットを効果的に活用した授業

# 新しい時代を切り拓く生きる力と心豊かでたくましい人間力をもつ児童の育成

## 学校の共通行動



### ✿ 児童の実態の把握

各種調査に基づき、客観的な児童の実態把握を行う。それをもとに、個に応じた手立てを講じ、個別最適な学びの保障を進める。また協働的な学びを取り入れ、自分の考えをアップデートする機会を増やしていく。

### ✿ 授業規律、学習展開の統一

幸手スタンダード授業5 with GIGAに沿った授業展開を実践する。授業規律の徹底、学習展開の統一化を図り、児童が学びやすい環境を整える。（課題から始まり、個別の学び、対話的な学び、振り返りにて学びの自覚化をする授業の実践）

### ✿ できるまで繰り返す学習指導

学習内容の定着を図るため、各種調査の問題、ドリル（紙媒体・ICTドリルパーク）プリントなどを繰り返し取り組む。

### ✿ 非認知能力の向上

生活科における質の高い気付きをととした学習や総合的な学習の時間の時間における探究的な学びの中で、ICTを効果的に活用していく。体験活動と協働的な学びを行き来しながら、非認知能力育成を図る。

## 授業外での取組



### ✿ 学力向上週間の取組

各種調査をもとに、年間を通じて繰り返し取り組む。（各種調査の再チャレンジ、プリント集の活用）

4月～5月 基礎学力コンテスト 12月～1月 パワーアップシートB  
6月～7月 パワーアップシートA 1月～2月 確認テストB  
9月～10月 確認テストA 2月～3月 コバトン問題集  
11月～12月 統一学力調査

### ✿ 業前時間を活用した基礎学力の定着

曜日ごとに取り組みを設定し、年間を通じて釣り組む  
月・火曜日：コツコツタイム（国語、算数を中心に）  
月曜日：読み聞かせ（おはなしの森） R80の取組（書くこと）

### ✿ 日常的なタブレットの活用

文房具としてのタブレットの活用を積極的に進め、授業時間はもちろん、日常的に活用できる環境を整える。  
また、低学年を中心にタイピング練習などに取り組む。  
調べ学習や、個別最適な学び・協働的な学びなど様々な場面で、ICT活用を行うための教員向け研修を定期的に行う。

## 確かな授業実践



### ✿ 主体的・対話的で深い学びの授業実践

各教科等の授業においては、自分の考えをまとめる時間や、友だちと考えを共有し自分の考えを深める時間を組み入れていく。その際、ICT活用を図り、効果的な学習になるようにする。

### ✿ 自らの学びを振り返る授業実践

授業で「何を学んだのか」「他者との関わり」「今後の生活にどのように生かしていくのか」の視点で学びの振り返りを行う。振り返りを学びの足跡として積み重ねていき、ポートフォリオ的な面と、教師の授業改善の資料としての面とで活用していく。

### ✿ 校内課題研究を通じた授業実践

ICTを活用しながら、個別最適な学び及び協働的な学びの充実を図る。（年間3回の授業研究会による検証）

### ✿ タブレットを効果的に活用した授業実践

自分の考えをまとめたり、友だちと考えを共有するために、「オクリンクプラス」を思考ツールとして活用する。

## 家庭・学校間連携



### ✿ 家庭学習、自主学習の習慣化

学校での学びに加えて、家庭での学びの定着を図る。取り組み方の周知や毎日取り組むよう日々の見届けを確実に。そして、学ぶことが当たり前という意識をもたせる。

### ✿ 中学校区との連携

学習面では、互いに授業を見合いながら、より良い授業づくりの視点で意見交換を図る。ICTの活用を軸に小中連携を図っていく。教育相談、生徒指導の取組から、情報を共有し、9か年を見据えた児童生徒の育成を進める。

### ✿ 端末を活用した連携

Teamsを活用し、家庭への連絡、オンライン授業の推進、ミライシード、オクリンクプラスの活用による個別最適な学びにつながる取組を進め、個に応じた指導の充実を図る。  
児童や保護者の心の悩みを、ICTを活用して把握するシステムを構築していく。「こころウォッチ」「こころと体のアンケート」児童把握に活用するとともに、家庭と連携しながら、児童へのアプローチ方法の検討に役立てていく。